

大山小学校の統廃合に関する陳情



《陳情書 本紙（署名簿付）》

件 名 大山小学校の統廃合に関する陳情

要 旨 大山小学校の統廃合の進め方について、多数の住民の意見を無視した今般の拙速な進め方を改め、住民の納得のいくような丁寧な説明や、十分な時間を使い住民の意見を聞き入れるよう統廃合プロセスの改善および統廃合時期の修正を求めたく陳情します。

理 由 地域に深く根付く小学校が消滅することは長期にわたり人口流出等に影響し、小学校に通う子どもたちだけでなく地域にとっても重要な問題です。それにも関わらず住民が将来にわたって地域で安心して過ごせるビジョンも計画も、廃校後の行き先の学校さえも決めることなく、住民が納得できる説明も材料もなく、大山地域をないがしろにするかのような拙速な議案の上程が行われました。

住民が大山小学校の統廃合の話を知ってから1年にも満たない期間で、わずか3回程度、かつ一方的な説明会を開いただけでは保護者・地域住民は何ら納得ができず、子どもたちと地域の将来について不安が募る一方です。他市の事例（約10年154回）に照らしても拙速であることは明らかです。

保護者アンケートの結果においても令和7年の統廃合を妥当だとする意見は11、妥当ではないとする意見が22と、令和7年の統廃合に反対する声は賛成の2倍と多数を占めます。また、署名簿の通り大山地区に限らず市内全域に令和7年の統廃合に反対する意見が多数存在します。

そこで、白岡市議会におきましては、民意を尊重し下記の通り教育委員会に求めるよう要請します。

記

- 1 令和7年4月という拙速な大山小学校の廃校を中止すること（下記2、3を満たすために必要な時間を確保するための時期変更を求めます）
- 2 統廃合を検討する際には統廃合後の実現可能な地域振興策等を示すなどして、地域住民の不安を払拭し、納得が得られるまで十分な話し合いを重ねること
- 3 受け入れ先の児童、保護者等との軋轢が生じることのないよう他地域、他の学校、保護者等への周知も含め、あらかじめ十分な期間を費やして準備を行うこと

上述のとおり陳情書を提出します。

令和 6年 3月 1日

白岡市議会議長 大島 勉 様

陳情者代表

大山と白岡の持続可能な発展に取り組む有志の会

所在地

代表者 福田慎太郎 (外2名)

大山小学校の統廃合に関するに関する陳情書に付する署名の数

地域	筆数
南地区	14
菁莪地区	41
白岡東地区	69
西地区	97
篠津地区	138
大山地区	610
市外	90
合計	1059

大山小学校の統廃合に関する陳情に伴う署名簿の追加提出について

大山小学校の統廃合に関する陳情書に付する署名の数

合計数 () 内は今回の追加数

地域	筆数
南地区	26 (12)
菁莪地区	76 (35)
白岡東地区	89 (20)
西地区	130 (33)
篠津地区	164 (26)
大山地区	628 (18)
市外	176 (86)
合計	1,289 (230)

上述のとおり追加分の署名を提出します。

令和 6年 3月 15日
白岡市議会議長 大島 勉 様

提出者

大山と白岡の持続可能な発展に取り組む有志の会

所在地

代表者 福田慎太郎 (外2名)

